

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2004-62163(P2004-62163A)

【公開日】平成16年2月26日(2004.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-008

【出願番号】特願2003-157392(P2003-157392)

【国際特許分類第7版】

G 09 G 3/30

G 09 G 3/20

H 05 B 33/14

【F I】

G 09 G 3/30 J

G 09 G 3/20 6 1 1 A

G 09 G 3/20 6 2 1 D

G 09 G 3/20 6 2 1 M

G 09 G 3/20 6 2 2 E

G 09 G 3/20 6 2 2 F

G 09 G 3/20 6 3 1 A

G 09 G 3/20 6 6 0 U

G 09 G 3/20 6 6 0 V

G 09 G 3/20 6 8 0 G

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月12日(2005.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電気光学装置及び電子機器

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の走査線と、

複数のデータ線と、

前記複数の走査線と前記複数の走査線との交差部に対応して設けられた複数の画素回路と、

前記複数の走査線のいずれかを指定するアドレス信号が入力されるデコーダと、を含み、

前記デコーダは前記アドレス信号をデコードし、前記複数の走査線のうち前記アドレス信号が指定した1つの走査線に選択信号を出力すること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項2】

請求項 1 に記載の電気光学装置において、
さらにバッファ回路を含み、
前記バッファ回路を介して前記選択信号が前記 1 つの走査線に出力されること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の電気光学装置において、
前記デコーダは、前記 1 つの走査線に前記選択信号を出力した後、
前記複数の走査線のうち、前記 1 つの走査線から一本以上の走査線を隔てた他の走査線
に次の選択信号を出力すること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の電気光学装置において、
前記複数の画素回路の各々はデジタル駆動法により駆動されること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の電気光学装置において、
前記デジタル駆動法は、時分割階調法であること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の電気光学装置において、
前記デジタル駆動法は、面積階調法であること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 7】

請求項 4 乃至 6 のいずれかに記載の電気光学装置において、
前記複数の画素回路の各々は複数のインバータを含むメモリを備えていること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の電気光学装置において、
さらに前記複数の走査線を順番に選択するためのシフトレジスタを備えていること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の電気光学装置において、
前記シフトレジスタ及び前記デコーダのうちいずれか一方が動作しているときは、他方
は休止していること、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の電気光学装置において、
前記複数の画素回路の各々は有機EL素子を含むこと、
を特徴とする電気光学装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載の電気光学装置を備えた電子機器。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

【課題を解決するための手段】

本発明の第 1 の電気光学装置は、複数の走査線と、複数のデータ線と、前記複数の走査
線と前記複数の走査線との交差部に対応して設けられた複数の画素回路と、前記複数の走

査線のいずれかを指定するアドレス信号が入力されるデコーダと、を含み、前記デコーダは前記アドレス信号をデコードし、前記複数の走査線のうち前記アドレス信号が指定した1つの走査線に選択信号を出力することを特徴とする。

上記の電気光学装置において、さらにバッファ回路を含み、前記バッファ回路を介して前記選択信号が前記1つの走査線に出力されることが好ましい。

上記の電気光学装置において、前記デコーダは、前記1つの走査線に前記選択信号を出力した後、前記複数の走査線のうち、前記1つの走査線から一本以上の走査線を隔てた他の走査線に次の選択信号を出力するようにしてもよい。

上記の電気光学装置において、前記複数の画素回路の各々はデジタル駆動法により駆動されることが好ましい。

上記の電気光学装置において、前記デジタル駆動法は、時分割階調法であってもよい。

上記の電気光学装置において、前記デジタル駆動法は、面積階調法であってもよい。

上記の電気光学装置において、前記複数の画素回路の各々は複数のインバータを含むメモリを備えていてもよい。

上記電気光学装置において、さらに前記複数の走査線を順番に選択するためのシフトレジスタを備えていてもよい。

上記の電気光学装置において、前記シフトレジスタ及び前記デコーダのうちいずれか一方が動作しているときは、他方は休止しているようにしてもよい。

上記の電気光学装置において、前記複数の画素回路の各々は有機EL素子を含んでもよい。

本発明における第2の電気光学装置は、複数の走査線と、前記各走査線に対して交差するよう配線された複数のデータ線と、前記各走査線と前記各データ線との交差部に対応してそれぞれ設けられた電子回路とを備えた電気光学装置において、クロック信号に応答して前記各走査線を順番に選択するためのシフトレジスタと、デジタルコード信号を入力し、そのデジタルコード信号に基づいて前記各走査線のいずれか一つを適宜に選択するためのデコーダとを備えた。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

これによれば、走査線は両側に設けられたシフトレジスタとデコーダにて同時に選択される走査線上の各電子回路は一様に速く選択される。

本発明における電子機器は、上記の電気光学装置が実装されている。